

授業科目

神経科学

担当教員名 今村 徹	対象学年	2	対象学科	理学・作業・言語・義肢
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
○	◎	○	◎	○

授業の概要

授業の題材は神経系の症状と疾患である。1セッション（計2～3日間）の授業は演習と講義の両方から成っている。各セッションでは（1）神経生理学・神経解剖学、（2）実際の臨床場面で用いられる診察・検査法、（3）代表的な症状・疾患の理解、にいたるまでを一連の流れとして学ぶ。授業中の演習課題とともに、予習項目と復習課題を授業ごとに指示する。

授業の目的

『神経科学』は「神経」の「科学」を学ぶ科目ではない。神経系の正常機能と構造の知識、すなわち神経生理学と神経解剖学に裏付けられた論理的な思考によって、神経系の障害による症状と疾患のメカニズムを理解できることを目標とする科目である。高等学校で学習する『生物学』や1年次の『生理学』『解剖学』の学習内容を始めとする神経生理学・解剖学の知識・理論と神経症状・疾患のメカニズムは密接に結びついている。したがって『神経科学』はこれら1年次の学習を後継する科目であると同時に、2年次後期に開講する『臨床神経学』の先行科目でもある。

学習目標

神経症状や疾患を逐次的に暗記することは求めない。論理的な思考によって神経症状と疾患のメカニズムを理解することが目的である。個別の学習目標は下記のセッションごとに配布資料の中で提示する。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション：以下の主題を扱う3つのセッションの具体的な日程などを呈示し、最初のセッションの教材、予習課題などを配布する。		今村 徹
	(1) 脳		
2,3	1) 頭蓋内中枢神経系の運動系と体性感覚系の解剖学、頭部MRI, MRA画像検査	演習	今村 徹
4	2) 虚血性脳血管障害	講義と演習	今村 徹 他
5	3) 出血性脳血管障害	講義	今村 徹
	(2) 脊髄		
6,7	1) 筋伸張反射	演習	今村 徹 他
8,9	2) 上位運動ニューロン、体性感覚系と脊髄の解剖学・生理学	講義と演習	今村 徹 他
10,11	3) 脊髄疾患	講義と演習	今村 徹
	(3) 末梢神経		
12,13	1) 神経伝導速度検査	演習	今村 徹 他
14	2) 下位運動ニューロンと末梢神経の解剖学・生理学	講義	今村 徹
15	3) 末梢神経疾患	講義	今村 徹

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	簡要神経学（第4版）	岩田誠、岩田淳 訳	MEDSI	2006 年	3,800円＋税	
	ベッドサイドの神経の診かた(改訂17版)	田崎義明、斎藤 佳雄	南山堂	2010 年	7,200円＋税	
参考書	画像診断のため脳解剖と機能系	久留裕、真柳佳	医学書	1995	19,000円＋	演習のグループに1冊貸

		昭	院	年	税	与する
その他の資料	適宜配布する					

評価方法

授業中の課題と予習課題，復習課題の理解は演習においてグループ単位で評価する。この評価に合格した者に定期試験の受験を許可する。

最終的な成績評価は定期試験の成績による。

課題と試験のすべてにおいて，知識・理解とともに科学的な思考・判断の能力を求める。

履修上の留意点

多くの講義・演習は金曜午後と土曜午前に連続して行う予定である。

指定された土曜授業日に出席できるようにすること。

オフィスアワー・連絡先

質問等はまず下記のアドレスに連絡してアポイントメントを取ってほしい。

言語聴覚学科 今村徹

imamura@nuhw.ac.jp